

「ラグビー好きになって」

本紙創刊140年記念マッチでトーク

日本代表選手、子どもにエール

岐阜市長良福光の長良川競技場で11日に行われた、ラグビーのトヨタウェルブリッツ対東京サントリーサンゴリアス(東京SG)戦。試合前には、日本代表のトヨタ・姫野和樹選手と東京SG・中村亮士選手らによるトークショーが開催され、会場を盛り上げた。



トークショーに臨む中村亮士さん(右から2人目)、姫野和樹さん(同3人目) 岐阜市長良福光、長良川競技場

2019年に行われたワールドカップ(W杯)日本大会で日本の8強入りに貢献した両選手。中村選手はテレビとゲーム機をセットで持ってきて、スイーツケースが他の選手より多い」との秘話を明かして笑いを誘った。スタンドには子どもたちの姿も目立った。助言を求められた2人は「ラグビーを楽しんで、好きになつて」と呼び掛けた。



つたえる、つながる



最優秀選手に飛騨牛を贈る田代正美バローホールディングス会長兼社長(右)＝同

姫野選手は「第2節ではサントリーをボコボコにした」と対抗心を燃やした。また、東京SGに11月下旬に新加入したニュージールランド代表のタミアン・マッケンジー選手がスペシャルゲストとして登場し、ラグビーファンを喜ばせた。試合は東京SGが勝利。両チームの熱のこもったプレーに、詰め掛けた約6200人からは分け隔てなく拍手が送られた。特別協賛したバローホールディングスの田代正美会長兼社長は最優秀選手らに飛騨牛を贈った。取材に対し「いい試合が見られて、ファンは喜んでいと思う」と話した。